

全木連時報

8月25日(木曜日)
(第641号)(毎月25日発行)
平成23年(2011年)

発行所
社団法人 全国木材組合連合会
編集長 尾 蘭 春 雄
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL http://www.zenmoku.jp



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

【全木連時報】の購読料は年会費に含まれています。

全木連総務委員会 全木協連表彰選考委員会を開催

振興大会の表彰候補者を決定



(岩手県木協理事長)から大要の説明があった。事務局案として、地震、津波、原発被害の収束しない中での開催となることに十分に留意。大会の目的を明確にすることを提案、了解を得た。大会の目的は①震災復興のための資材を供給する木材業界の使命を確認し対外発信する②震災原発の被害の広がりをふまえて被害対策への支援を要請する③木材業界として被災を受けた地域への支援を確認し・連帯を示す。また、大会の中で、地元からの現状報告、意見表明を行うこととし、出席者の確保については各支部への要請を特に行うことなど確認した。

これらその後、表彰者選考となり各都道府県木連、木協連からの推薦にもとづいて、全木連会長表彰、全木協連会長表彰計九十六名を決定したほか、林野庁に申請する候補者を選考した。

また、会議では、公益法人改革にむけた全木連の事業運営について検討したほか、最近の活動状況や情勢を報告した。主なものとし

今年の全国木材産業振興大会

10月19日に盛岡市で開催

全木連・全木協連が主催する第四十六回全国木材産業振興大会は、十月十九日に、岩手県盛岡市の「ホテルメトロポリタン盛岡ニューイング」で開催する。今回は全木協連創立五十周年記念大会である。

大会の前に関連行事として特別講演会が行われる。岩手大学農学部教授の岡田秀二氏による「林政転換の背景とその実現に向けて―大震災後の地域の地域実情を踏ま

ては、①原発事故に伴う敷料、パルクの取扱いについて②平成二十三年度 第二次補正予算について③東日本大震災及び平成二十四年度予算関連の活動について④東日本大震災に関する活動経過⑤平成二十三年度合法木材関連事業について⑥東日本大震災見舞金について⑦平成二十三年度全木連の公益目的事業について⑧全木協連事業

目次

- 一 面 総務委員会・表彰選考委員会を開き大会表彰者選考など 振興大会のおしらせ
- 二 面 森林・林業・木材関係施策に関する説明会で林野庁幹部と意見交換
- 三 面 木材利用推進全国会議の様
- 四 面 景況調査

「えてー」が予定されている。大会は、第一部が大会議事。大会宣言を決議し、その実現をめざす。第二部が表彰式。退任団体長表彰、全木協連創立五十周年記念表彰、木材産業功労者表彰を行う。東日本大震災後の岩手県で開催される大会であり、意義ある大会をめざす。全国から七百名の参加を見込んでいるので、多数の参加が期待される。

の推進について⑨平成二十四年全国会議日程(二面に掲載)の以上。当日の出席者は、全木連Ⅱ並木会長、松原副会長、小野田副会長、山根副会長、樋口支部長、横田副会長、田中副会長、全木協連Ⅱ吉条会長、亀山副会長、坂東副会長、西村副会長、俊成副会長、内田副会長。

森林・林業・木材関係施策に関する 説明会で林野庁幹部と意見交換



全木連・全木協連は、八月五日、正副会長・支部長と林野庁幹部との会議（森林・林業・木材関係施策に関する説明会）を開催し、木材関連全般、広範な問題について率直に要望や意見交換した。

当日の林野庁の出席者は次のとおり。皆川長官、沼田次長、末松林政部長、安東企画課長、松原経営課長、測上木材産業課長、阿部木材利用課長、川端業務課長、小澤木材貿易対策室長、唐澤木材産業課長補佐、佐野業務課販売係長、竹澤木材産業課加工係長。

会議は、並木会長、皆川長官の挨拶に続いて、林野庁より、「森林・林業基本計画」と「国際森林年」を中心に説明があり、その後、意見交換し、閉会した。

各支部からの意見・要望

林野庁幹部との会議にあたっては全木連では事前に各支部から意見・要望を集め、林野庁に提出している。

- 東日本大震災対策・支援
- 被災木材産業の復旧・復興対策（機械施設再建、運転資金、残留木材・木製品の処理、木質バイオマス利用等のための補助、融資・

補償などの支援

- 復旧・復興のための木材供給安定等対策
- 原発事故対策の支援（直接・間接被害の補償・賠償対策支援、木製品の風評被害対策（補償・賠償、安全性の確認とその普及）
- パーク処理対策（敷料、堆肥利用の放射能汚染基準の設定、検査体制整備、処理施設整備、運転資金確保など）

平成24年 全国会議等の日程（予定）

月 日	曜日	会 議 名	場 所
2月16日	木	全木連、全木協連合同常勤役員・事務局長等会議	木材会館
3月23日	金	全木連、全木協連、木退共、全木政連合同正副会長・支部長会議 全木連 理事会・通常総会 木退共 理事会 全木協連 理事会・臨時総会 全木政連 常任委員会	木材会館
5月9日	水	全木連、全木協連、木退共、全木政連合同正副会長・支部長会議 全木連 理事会・通常総会 木退共 理事会・通常総会 全木協連 理事会・通常総会 全木連、全木協連合同懇談会	メルパルク東京
5月10日	木	全木連 理事会・通常総会 全木政連 通常総会	メルパルク東京
7月下旬又は8月上旬		全木連総務委員会、全木協連表彰選考委員会 林野庁による木材関係施策説明等会議	調整中
9月上旬又は中旬		全木連、全木協連合同常勤役員・事務局長等会議	木材会館(予定)
10月17日	水	第47回 全国木材産業振興大会	宮崎市
11月中旬		全木連、全木協連、全木政連合同正副会長・支部長会議 全木連 理事会・臨時総会 全木協連 理事会・臨時総会 全木政連 常任委員会	木材会館(予定)

- 「森林整備・加速化・林業再生事業」の拡充延長
- 加工流通施設の整備、木材の利用促進などに大きな成果のあった同事業の延長・拡充
- 森林・林業再生プランの着実な推進と供給体制整備の促進
- 木材利用拡大・施設整備などのための融資・助成など予算の拡大
- 高品質・低コストの国産材供給体制確立、並びにこれらの地域的取組
- 水平連携に対する施策の充実
- 北洋材対策としての原料転換対策の拡充とロシア政府に対する輸出税見直しの要請
- 木材利用促進の強力な推進
- 木造住宅・木製品利用を促進す
- 国有林野事業の強化
- 公益機能の確保、木材の安定供給体制の構築、地域振興への寄与
- 労働多発化傾向に対処する労働者の安全対策の強化
- 林業・木材産業の労働安全対策の充実
- JAS製品・合法木材の需要拡大
- 地方自治体に対する助成の充実
- JAS製品・合法木材の供給体制の確立と利用の拡大
- 国・都道府県・市町村レベルの取組状況の把握と情報発信
- 減税、木材利用エコポイント
- 公共建築物等の利用促進について

企業経営に安心を提供します

全木連グループの各種保障制度

おかげさまで35年

中型グループ

などの備えに ケガ・病氣入院	従業員のために 中型グループ	総合賠償補償制度 第三者への事故対策に
	経営者のために 総合保障プラン	任意労災保障制度 労働災害への対策に
		木退共 従業員の退職金の準備に

全国木材協同組合連合会

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL 03-3580-3215(代)

木材利用推進全国会議を開催



木材利用推進中央協議会(会長 並木瑛夫全木連会長)は七月二十六日、東京・新木場の木材会館で平成二十三年度木材利用推進「全国会議」・「講演」・「表彰式」を開催し、「公共建築物等や農林水産関係施設・公共土木工事における最大限の木材利用促進」などに取り組むとした宣言を全会一致で採択した。

会議は、並木会長の挨拶の後、沼田林野庁次長、国土交通省住宅生産課長(建築技術政策分析官)の来賓挨拶があり、議事に入った。

まず、「公共建築物への木材利用推進の取組等」では、国土交通省官庁営繕部整備課木材利用推進室

の大槻泰士課長補佐(公共建築物における木材利用推進の取組み)、林野庁木材利用課の中村隆史課長補佐(公共建築物等における木材利用の促進について)、文部科学省施設助成課の高見英樹課長補佐(木材を利用した学校施設づくり促進の取組)から、それぞれ関係施策の説明を受けた。

ついで、東日本震災の建築被害報告について日本住宅・木材技術センター試験研究所長岡田恒氏から報告があった。

次に、都市地域における取組み事例として、二件の報告があった。

一、港区における国産材利用推進事業(みなとモデル二酸化炭素固定認証制度)の取組発表者・東京都港区環境リサイクル支援部環境課地球温暖化担当早藤潔係長、二、森林(もり)と都市をつなぐ地域材の利用推進の取組発表

者・埼玉県農林部森づくり課木材利用推進担当須田俊一主幹

これら発表の後、次の宣言を決議して議事を終了した。

①東日本震災の復旧・復興に不可欠な木材・木質資材の需給安定

②公共建築物等や農林水産関係施設・公共土木工事における最大限の木材利用促進

③住宅、街づくり、商業施設、店舗など多様な分野における木材利用促進

④間伐材・未利用材のマテリアル利用、木質バイオマスエネルギー利用等の促進

⑤品質・性能が明確で合法性等の証明された木材・木製品の供給・利用の促進

⑥需要者・消費者、行政関係機関と連携しての「木づかい運動」等の積極的展開

講演では、建築家、東京建築士会会長の三井所清典氏が「地域の復元力となる木造のすまいとまちづくり」と題して演じた。

優良木材施設の表彰

全国会議終了後に優良木造施設の表彰式が行われ、農林水産大臣賞林野庁長官賞は皆川林野庁長官から、推進協議会長賞は並木会長から表彰状が授与され、その後皆川長官から「表彰のお祝い」と木材・国産材利用推進の牽引車としての役割を期待」との祝辞があった。



3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

平成24年(2012年)版 木材PR用カレンダー予約受付中

- ・1社100部単位にて、ご予約受付けます。
- ・ご希望のとおりに社名印刷してお届けします。(社名印刷はサービスいたします)
- ・1部700円(社名印刷が昨年と同じ場合は1部680円に割引きます)。消費税別。
- ・サイズ 364X515 mm
- ・お申し込みは、全木連(03-3580-3215)まで

東京都港区の活動に関心

都会での木材利用の取組

本年度は公共建築物等木材利用促進法の制度化もあって、応募者は例年になく多く一・二点もの応募があり、長官賞、会長賞は例年より二点多く表彰された。

各賞の受賞施設は次のとおり。

▼農林水産大臣賞 亀山市立関中学校(三重県)

▼林野庁長官賞 和田保育園(富山県)、サテライト型特別養護老人ホーム「あやめ荘(愛媛県)、中土佐町立久礼中学校(高知県)、雲の上のギャラリー(高知県)。

▼木材利用推進中央協議会会長賞 二コープさつぽろ西宮の沢店(北海道)、鹿角市定期市場(秋田県)、酒田特別支援学校(山形県)、公立八女総合病院企業団みどりの杜病院(福岡県)、宮崎空港旅客ターミナルビル保安検査場(宮崎県)

これは、港区独自に低炭素化に向かう取組としてはじめて「みなと森と水サミット」がベースであり、このサミットに参加した自治体が協定先になっている。

床面積五千㎡以上の建物が対象で、新築改築の際に使用された木材使用量を評価し、二酸化炭素固定量を認証する。

景況調査(平成23年7月分)

景況調査=全木協

23年7月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

モニター数85 回答数55 回収率65%

当月の状況

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Quantity, Sales Price, and Purchase Price.

来月の見通し

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Quantity, Sales Price, and Purchase Price.

Table with 4 columns: Item, Strong, Hold, Weak. Rows include 3 months later market expectations for Rice, South Sea, North Sea, Domestic, and Building materials.

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Row: Drying material transaction frequency.

〔製造部門〕

モニター数108 回答数62 回収率57%

当月の状況

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Quantity, Sales Price, and Purchase Price.

来月の見通し

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Quantity, Sales Price, and Purchase Price.

Table with 4 columns: Item, Strong, Hold, Weak. Rows include 3 months later market expectations for Rice, South Sea, North Sea, and Domestic materials.

プレカットの動向

Table with 4 columns: Item, 1 month or less, 1 month, 1 month or more. Row: Waiting time after order and processing.

7月は、販売量については、流通・製造部門とも前月と変わらなかつた。仕入量については、流通部門では前月より減少したが、製造部門では前月と変わらなかつた。また、販売価格、仕入価格については、流通・製造部門とも変わらなかつた。

8月は、販売量、仕入量については、流通・製造部門とも変わらなかつた。仕入価格については、流通・製造部門とも変わらなかつた。また、販売価格、仕入価格については、流通・製造部門とも変わらなかつた。また、仕入価格については、流通・製造部門とも変わらなかつた。

プレカット工場の操業状況は本調査では依然と低位に推移している。本調査の傾向としては、小じつかりした展開が続いているが、7月の季節性があるものの、全体に動きが鈍くなっていると見られる。特にプレカット工場の動向が向上してこないことも原因と見られる。

景況調査は改訂へ

長らく継続した景況調査は、全木連の事業の見直しの一環で、改訂を検討中。十月分より変更の予定。

『東日本大震災復旧緊急保証』の受付が始まりました。

この度の東日本大震災により被害を受けられた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

震災による復旧のための緊急保証として、他の資金とは別に基金から100%保証が受けられます。

- 地震・津波により直接罹災された方の復旧に必要な運転資金・設備資金
● 主要販売先などの罹災により間接的に被害を受けた方に係る資金繰り安定化のために必要な運転資金
● 震災復興に係る仮設住宅など資材供給の円滑化のために必要な運転資金・設備資金
詳しくは基金までお尋ね下さい

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号(コープビル11階)
TEL: 03(3294)5585 FAX: 03(3294)5595 URL: http://www.affcf.com

